

京都SDGsパートナー登録証



新京極商店街振興組合は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

商店街という特性を活かし、地域住民も参画する新京極ふれあいマルシェ、オリジナルエコバックの普及啓発、清掃活動等のコミュニティにおいて、商店街が一体となり、持続可能な社会に向けた行動変容を促すことで、2030年のSDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」を達成し、商店街SDGsの発信拠点として活動を継続していきます。

●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】新京極ふれあいマルシェは、京都の農家と商店街の連携を深め、地域に根ざした持続可能な食の循環を創出します。マルシェにおいて、食の大切さや地産地消の意義を啓発しています。将来的には、新たな地域ブランドを創出する等地域経済の活性化に貢献します。

【社会】地域と連携して、毎月1日と15日に実施している清掃活動は、新京極の絆づくりとなり、より良い地域環境を保つことに貢献しています。今後も継続して新京極の清掃美化活動を推進し、地域住民と一体となってより住みよい街づくりを目指します。

【環境】新京極通開通150年記念として制作したエコバッグ通じて、プラスチックごみの削減に貢献するとともに、消費者の環境問題に対する関心を高めて、持続可能な消費行動への意識転換につながるよう努めています。今後もエコバッグの利用状況や満足度を調査することで、効果的な啓発活動につなげていきます。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

地域住民と観光客が共に楽しめる文化イベントを年間通して開催し、京都の伝統文化を体験できる機会を提供しています。また、商店街内の8社寺を巡るルートを紹介し、歴史と文化に触れることができる観光資源として発信しています。これらの活動を通じて、京都の文化を国内外に発信し、地域の魅力向上に貢献していきます。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00481

新京極商店街振興組合

登録期間 2024年11月15日 ~ 2026年11月14日



京都超SDGs
コンソーシアム



京都市
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の1つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

